

さらしがわ

晒川生活貯水池建設事業の検証に係る検討結果報告書

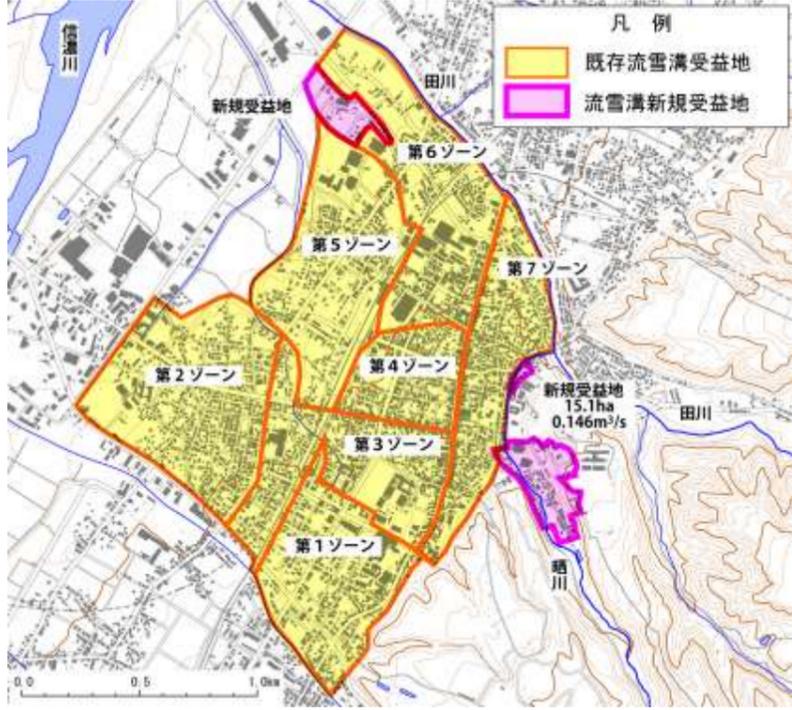
正誤表

平成 24 年 6 月

新潟県

晒川生活貯水池再開発事業の検証に係る検討結果報告書 正誤表

頁	箇所	誤	正
P2-16	図 2.3.1 晒川の現況流下能力図		
P2-18	2.4.2 河川整備計画(案)の概要	<p>【計画対象河川】 信濃川上流圏域圏域に属する一級河川を対象とする。</p>	<p>【計画対象河川】 信濃川上流圏域圏域に属する一級河川の<u>県管理区間</u>を対象とする。</p>
P3-1	③克雪用水	<p>晒川下流域の地区の9haに対し、来迎寺堰地点において、克雪用水として冬期最大6,495m³/日(0.164m³/s 11時間取水)の取水を可能とする。</p>	<p>晒川下流域の地区の<u>15.1ha</u>に対し、来迎寺堰地点において、克雪用水として冬期最大6,495m³/日(0.164m³/s 11時間取水)の取水を可能とする。</p>
P4-4	4.1.3 堆砂計画の点検	<p>晒川ダムの計画堆砂量は、経験式による方法で得られた計画比堆砂量1,000m³/km²/年から、計画堆砂量183,000m³としている。</p>	<p>晒川ダムの計画堆砂量は、<u>近傍類似ダムの堆砂実績および推計式</u>による方法で得られた計画比堆砂量1,000m³/km²/年から、計画堆砂量183,000m³としている。</p>
P4-6	(3)・2 晒川ダム比堆砂量の推定	<p>表 4.1.4 新潟県ダム建設事業全体の残事業と必要期間</p>	<p>表 4.1.4 <u>捕捉率を考慮した比堆砂量の計算結果</u></p>
P4-10	5) 流雪溝使用水量	<p>処理対象として屋根雪、路上雪を考慮し、ゾーンごとの発生雪量(m³)を算定する 流雪溝に投入する雪の比重は締り雪0.35として設定しする。</p> <p>このとき、必要水量は次式による。(新編防雪工学ハンドブック)</p>	<p>処理対象として屋根雪、路上雪を考慮し、ゾーンごとの発生雪量(m³)を<u>算定する</u>。 流雪溝に投入する雪の比重は締り雪0.35として<u>設定する</u>。</p> <p>このとき、必要水量は次式による。(新防雪工学ハンドブック)</p>

頁	箇所	誤	正
P4-11	⑤新規取水量の確認	 <p>図-4.1.6 流雪溝の新規受益地</p>	 <p>図-4.1.6 流雪溝の新規受益地</p>
	4) 流雪溝使用水量	<p>処理対象として屋根雪、路上雪を考慮し、発生雪量(m³)を算定する必要水量は次のとおりである。</p>	<p>処理対象として屋根雪、路上雪を考慮し、発生雪量(m³)を算定する。<u>。</u></p> <p>(追記) <u>必要水量は次式による。(流雪溝設計運営要領)</u></p> <p><u>所要水量 $Q = m_2 \cdot w^{0.6}$ w : 投入雪量 (t/s³)</u> <u>m_2 : 勾配、雪質による流雪係数 (0.75~0.81)</u></p> <p><u>新規利水受益地における必要水量は次の通りである。</u></p>
P4-13	⑤新規利水開発量の妥当性	<p>この結果、の単位水量は既存計画における単位水量とほぼ同じであることから、開発水量は妥当と判断した。</p>	<p><u>この結果、</u>単位水量は既存計画における単位水量とほぼ同じであることから、開発水量は妥当と判断した。</p>

晒川生活貯水池再開発事業の検証に係る検討結果報告書 正誤表

頁	箇所	誤	正																																																																																
P4-60	①多目的ダム案（現行案）																																																																																		
P4-61	②利水単独ダム案	<p>克雪</p> <p>□整備内容 【ダム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 型式 : ロックフィルダム 堤高 : 36.5m 堤頂長 : 154.0m 総貯水容量 : 40万m³ 	<p>克雪</p> <p>□整備内容 【ダム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 型式 : ロックフィルダム 堤高 : 36.5m 堤頂長 : 154.0m 総貯水容量 : 41万m³ 																																																																																
P4-76	4.6.6 利水代替案の総合評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>①多目的ダム案 (現行案)</th> <th>②利水単独ダム案</th> <th>③水系間導水案 (信濃川)</th> <th>④水系間導水案 (田川)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目 標</td> <td>必要開発量を確保できる。</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>コ ス ト</td> <td>— 約0.2億円 (約95億円)</td> <td>× 約75億円</td> <td>× 約7.7億円</td> <td>× 約6.2億円</td> </tr> <tr> <td>実 現 性</td> <td>必要用地買収面積18.6haのうち16.4ha(88%)が完了しているが、一部用地取得が難航。</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>持 続 性</td> <td>適切な維持管理により持続可能。</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>地域社会への影響</td> <td>家屋移転は少なく、新たな水辺空間を形成することで観光等による地域振興への効果が期待できる。</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>環 境 への 影 響</td> <td>水環境、生物生育環境への影響が懸念されるため、対応の検討が必要。</td> <td>△</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>克雪の評価</td> <td></td> <td>×</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table> <p>※コストの()内の額は、治水・不特定を含む。 評価(現行案との比較) ○:有利 △:同程度 ×:不利</p>		①多目的ダム案 (現行案)	②利水単独ダム案	③水系間導水案 (信濃川)	④水系間導水案 (田川)	目 標	必要開発量を確保できる。	△	△	△	コ ス ト	— 約0.2億円 (約95億円)	× 約75億円	× 約7.7億円	× 約6.2億円	実 現 性	必要用地買収面積18.6haのうち16.4ha(88%)が完了しているが、一部用地取得が難航。	△	△	△	持 続 性	適切な維持管理により持続可能。	△	△	△	地域社会への影響	家屋移転は少なく、新たな水辺空間を形成することで観光等による地域振興への効果が期待できる。	△	△	△	環 境 への 影 響	水環境、生物生育環境への影響が懸念されるため、対応の検討が必要。	△	○	○	克雪の評価		×	△	△	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>①多目的ダム案 (現行案)</th> <th>②利水単独ダム案</th> <th>③水系間導水案 (信濃川)</th> <th>④水系間導水案 (田川)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目 標</td> <td>必要開発量を確保できる。</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>コ ス ト</td> <td>— 約0.2億円 (約95億円)</td> <td>× 約75億円</td> <td>× 約7.7億円</td> <td>× 約6.2億円</td> </tr> <tr> <td>実 現 性</td> <td>必要用地買収面積18.6haのうち16.4ha(88%)が完了しているが、一部用地取得が難航。</td> <td>×</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>持 続 性</td> <td>適切な維持管理により持続可能。</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>地域社会への影響</td> <td>家屋移転は少なく、新たな水辺空間を形成することで観光等による地域振興への効果が期待できる。</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>環 境 への 影 響</td> <td>水環境、生物生育環境への影響が懸念されるため、対応の検討が必要。</td> <td>△</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>克雪の評価</td> <td></td> <td>×</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table> <p>※コストの()内の額は、治水・不特定を含む。 評価(現行案との比較) ○:有利 △:同程度 ×:不利</p>		①多目的ダム案 (現行案)	②利水単独ダム案	③水系間導水案 (信濃川)	④水系間導水案 (田川)	目 標	必要開発量を確保できる。	△	△	△	コ ス ト	— 約0.2億円 (約95億円)	× 約75億円	× 約7.7億円	× 約6.2億円	実 現 性	必要用地買収面積18.6haのうち16.4ha(88%)が完了しているが、一部用地取得が難航。	×	△	△	持 続 性	適切な維持管理により持続可能。	△	△	△	地域社会への影響	家屋移転は少なく、新たな水辺空間を形成することで観光等による地域振興への効果が期待できる。	△	△	△	環 境 への 影 響	水環境、生物生育環境への影響が懸念されるため、対応の検討が必要。	△	○	○	克雪の評価		×	△	△
	①多目的ダム案 (現行案)	②利水単独ダム案	③水系間導水案 (信濃川)	④水系間導水案 (田川)																																																																															
目 標	必要開発量を確保できる。	△	△	△																																																																															
コ ス ト	— 約0.2億円 (約95億円)	× 約75億円	× 約7.7億円	× 約6.2億円																																																																															
実 現 性	必要用地買収面積18.6haのうち16.4ha(88%)が完了しているが、一部用地取得が難航。	△	△	△																																																																															
持 続 性	適切な維持管理により持続可能。	△	△	△																																																																															
地域社会への影響	家屋移転は少なく、新たな水辺空間を形成することで観光等による地域振興への効果が期待できる。	△	△	△																																																																															
環 境 への 影 響	水環境、生物生育環境への影響が懸念されるため、対応の検討が必要。	△	○	○																																																																															
克雪の評価		×	△	△																																																																															
	①多目的ダム案 (現行案)	②利水単独ダム案	③水系間導水案 (信濃川)	④水系間導水案 (田川)																																																																															
目 標	必要開発量を確保できる。	△	△	△																																																																															
コ ス ト	— 約0.2億円 (約95億円)	× 約75億円	× 約7.7億円	× 約6.2億円																																																																															
実 現 性	必要用地買収面積18.6haのうち16.4ha(88%)が完了しているが、一部用地取得が難航。	×	△	△																																																																															
持 続 性	適切な維持管理により持続可能。	△	△	△																																																																															
地域社会への影響	家屋移転は少なく、新たな水辺空間を形成することで観光等による地域振興への効果が期待できる。	△	△	△																																																																															
環 境 への 影 響	水環境、生物生育環境への影響が懸念されるため、対応の検討が必要。	△	○	○																																																																															
克雪の評価		×	△	△																																																																															